



**Q** 子供に、伝統行事について質問されるのですが、正しく答える自信がありません。

**A** 知ったかぶりで、うろ覚えのことを伝えるよりも、子供と一緒に学べばいいのです。

### 日本文化を知るチャンス

2月には、3日の節分、8日の針供養などがあります。こうした伝統行事を、子供の頃に体験しなかった若いお母さんやお父さんも少なくないでしょう。「どうして豆をまくの？」と聞かれ、ある程度は説明できても、本来の意味かどうか心許ないということはよくあります。

伝統行事を学ぶのは日本の文化を知る絶好の機会です。また、そうした知識は精神性を深めてくれ、人と人のコミュニケーションにも役立ちます。

今は、インターネットで検索

すれば、行事についての情報がすぐ手に入ります。節分の豆まきなど、自宅でやってみるのがいいですね。伝統行事には、子供の幸せを願うものが多いので、家族の愛情が子供に伝わります。お寺や神社などの行事に、親子で参加するのもいいでしょう。

### 世代間交流の機会

地域の行事に参加すると、さまざまな年齢層の人たちとの交流ができます。伝統行事には幅広い年齢層の子供たちが集まり、高齢者もいるので絶好の世代間

交流になります。

そこで得る知識は、ネット上にはない地域独自の内容があります。豆まきで食べる豆の数は地方によつて違い、大阪で始まつたとされる恵方巻きは家庭によつてそれぞれ作り方に特徴があります。

地域の伝統行事に参加しながら育つた子供は、自然に郷土愛を持つようになります。家庭と地域との関わりの中で、子供は成長します。伝統行事は、地域社会に目を向け、交流を深めるきっかけにもなりますから、積極的に参加してください。